

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成31年4月18日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立日根野小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 142人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語，数学及び英語。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，国語及び算数・数学においては，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。英語においては，選択式，短答式及び記述式の問題に加え，「話すこと」に関する問題の解答は，原則として口頭式によるものとする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答率は、全国平均よりやや高く、大阪府平均を上回っている。平均正答率の全体的な分布は、国、府と比べて下位層、中下位層がやや少なく、中上位層がやや多い。

平均正答率（本校 65／泉佐野市 59／大阪府 60／全国 63.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】</p> <p>○図表やグラフなどを用いた目的を捉えることが概ねできる。</p> <p>1一 公衆電話について調べたことを【報告する文章】で<資料2>と<資料3>をそれぞれのような目的で用いているか、適切なものを選択する (80.0/71.2)</p> <p>○目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。</p> <p>1三 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く (31.9/28.8)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題がある。</p> <p>1四(1)ア 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□部アを、漢字を使って書き直す（調査のたいしょう） (39.3/41.9)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことにやや課題がある。</p> <p>1四(1)ウ 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□部ウを、漢字を使って書き直す（かんしんをもってもらいたい） (45.9/35.6)</p> <p>○文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことにやや課題がある</p> <p>1四(2) 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す (43.7/47.8)</p> <p>○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることにやや課題がある。</p> <p>3四 ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の□に入る適切なものを選択する（習うより慣れよ） (65.2/73.0)</p>

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	57.1	64.2	◇	7.1
国語の勉強は大切だと思いますか	94.1	93.0		1.1
国語の授業の内容はよく分かりますか	88.1	84.9		3.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.6	91.2		1.4
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	69.6	76.9	◇	7.3
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	77.0	78.1		1.1
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	68.2	68.5		0.3
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	65.2	71.4	◇	6.2
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	76.3	80.4		4.1
解答時間は十分でしたか（国語）	74.9	74.2		0.7

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の各領域において、平均正答率は全国とほぼ同じか上回っている。
- 「国語の勉強は好き」と感じている児童の割合が、全国と比べて低いことが課題である。
- 「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で課題がある。
- 定着していない漢字やことわざについては、意味の理解が難しく、文の中で正しく使うことが出来ていなかったり、無解答であったりする。
- 文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる児童が少ないことが課題である。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答率は、全国平均、大阪平均をやや上回っている。平均正答数の全体的な分布は、国、府と比べて、上位層はやや多く、中上位層はやや少ない。

平均正答率（本校 71／泉佐野市 65／大阪府 66／全国 66.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することに課題がある。</p> <p>3（2）減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなになるのかを書く。 (30.4/31.1)</p> <p>○示された除法の式の意味を理解することにやや課題がある。</p> <p>3（4）$1800 \div 6$は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ。 (50.4/47.0)</p> <p>○示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することに、やや課題がある。</p> <p>4（2）何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く。 (78.5/68.6)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに、やや課題がある。</p> <p>1（3）減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く。 (52.6/43.9)</p>	<p>【図形】</p> <p>○台形について理解することが、概ねできている。</p> <p>1（1）長方形を直線で切った図形の中から、台形を選ぶ。 (94.8/93.1)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることが、概ねできている。</p> <p>2（1）1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ。 (95.6/95.2)</p> <p>○加法と情報の混合した整数と小数の計算をすることに、やや課題がある。</p> <p>2（4）洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために $6 + 0.5 \times 2$ を計算する。 (75.6/60.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	71.1	68.6		2.5
算数の勉強は大切だと思いますか	94.1	93.7		0.4
算数の授業の内容はよく分かりますか	81.5	83.5		2.0
算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか	91.8	92.5		0.7
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	76.3	76.5		0.2
算数の授業で新しい問題に出合ったときに、それを解いてみたいと思いますか	85.2	79.1	◇	6.1
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	83.7	82.0		1.7
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	82.2	82.1		0.1
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	83.7	84.0		0.3
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	88.2	87.0		1.2
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたか、どのように解答しましたか	99.3	98.3		1.0
解答時間は十分でしたか	82.2	84.0		1.3

○書く問題の解答の仕方について、途中であきらめた児童の割合が、全国に比べて約10%高い。解こうとは試みて、途中であきらめているが、無回答は減っている。

○新しい問題に出合ったとき、解こうという意欲が高くなっている。

○記述式の問題の正答率が低く、答えの求め方や理由を言葉や式で説明することに、課題がみられる。

○問題文が長くなると、問題の意図がつかめないため、誤答につながっている。

平成31年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（たとえば、1. 当てはまる 2. どちらかと言えば当てはまる 3. どちらかと言えば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては、10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○地域行事に参加している児童の割合が、全国と比べて少ない。</p> <p>○普段読書を全くしない児童の割合が高い。</p> <p>○家の人と学校での出来事について話す児童の割合が低い。</p>	<p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか。 <u><51.9 / 68.0></u></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたり、どれくらいの時間、読書しますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 全くしない <24.4 / 18.7></p> <p>○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか あまり、または全くしない。 <25.2 / 20.6></p>
【自分自身について】	<p>○学校のきまりを守っている児童の割合が高い。</p> <p>○自分にはよいところがあると思っている児童の割合が高い。</p> <p>○先生が、認めてくれていると思っている児童の割合が高い。</p>	<p>○学校のきまりを守っていますか。 <94.8 / 92.3></p> <p>○自分には、よいところがあると思いますか。 <81.4 / 81.2></p> <p>○先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか。 <88.9 / 86.1></p>
【学校での学習の様子】	<p>○学校に行くのが楽しいと思っている児童が多い。</p> <p>○ICTを活用していると感じている児童の割合が低い。</p> <p>○総合的な学習の時間では、課題解決や発表などの学習活動に取り組んでいると考える児童の割合が全国よりも低い。</p> <p>○学級会で話し合い、意見の良さを生かして解決方法を決めている児童の割合が低い。</p>	<p>○学校に行くのは楽しいと思いますか。 <62.2 / 53.9></p> <p>○5年生までに、受けた授業でコンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。 <14.8 / 30.6></p> <p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて、情報を集め整理して、調べたことを発表する等の学習活動に取り組んでいると思いますか。 <54.8 / 65.7></p> <p>○あなたの学級では、学級生活をより良くするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして、解決方法を決めていると思いますか。 <60.0 / 74.0></p>

本校の取組

◎これまでの取組

【学習について】

① 書く力を高める研究

「高めよう書く力」を研究主題とし、全ての教科の授業で、自分の考えを豊かに表現できる力、目的に応じて説明できる力の育成をめざす。また、書く力を高めるための授業づくりや指導方法の在り方についての学校全体で研究に取り組む。

② 表現力の育成

「日根野授業スタンダード」を作成し、全ての教科の授業で、自分の考えを文章で書く時間「書きタイム」、自分の考えを相手に伝える時間「伝えタイム」の活動を取り入れ、表現力の育成に取り組む。

③ 書きチャレの実施

学校全体で書く力を高めるために、「ことばのカプリント」(府教委作成)を活用した「書きチャレ」の授業に取り組み、言語能力の向上につなげる。

④ TT, 少人数・習熟度別授業

算数科と国語科において、学習内容に応じて少人数・習熟度別授業を実施する。教師一人に対しての児童数を減らすことで、よりきめ細やかな指導を行う。

⑤ 授業規律の確立

「チャイム着席」

授業チャイムが鳴ったときに、席に座って静かに待つ態度を身に付ける。

「正しい姿勢」

背中が「ピンツ」、足が「ピタツ」、つくえとおなかの間は「ゲー」一つの座り方の定着を図る。

【生活について】

① 家庭学習強化週間「放課後の過ごし方」

学期の初めに、家庭での過ごし方(学習面や生活面)においての目標を立て、保護者の方と一緒に取り組む。

② つながりタイム

1年生から6年生がたてわりのグループに分かれて、交流をおこなう。

◎これからの取組

【学習について】

〈国語〉

- ・漢字の定着において課題が見受けられるので、朝学やモジュールの時間を活用し、確実な定着を図る。
- ・文章や資料を読む際の読み方に課題が見受けられるので、朝学の時間を活用し、新聞などの長い文章から、必要な情報だけを読み取る練習を行う。

〈算数〉

- ・記述式の問題において課題が見受けられるので、式と答えだけではなく、自分の考えや求め方を文章で書いて、説明する機会を授業で多く取り入れる。
- ・問題文が長くなると、誤答が増加するといった課題が見受けられるので、問題文をしっかりと読み、大切な数字、聞かれていること、答えの単位といった箇所それぞれ印をつけ、問題の意図をつかむ練習を行う。

〈質問紙〉

- ・総合的な学習の時間において、課題解決や発表などの学習活動の取組み及び、ICTの活用について課題が見受けられるので、PCを用いて、調べ学習を積極的に行うなど、子どもがICTに触れる機会を多く設定する。
- ・読書において課題が見受けられるので、本に慣れ親しむために、委員会の取組みや啓発を積極的に行う。
- ・正答率と回答項目の相関関係を勘案し、学習面や生活面で、一人ひとりの良い所、がんばった所をしっかりとほめ、自尊感情を高める授業を推進する。